

スポーツ吹矢

《ルール・審判マニュアル》



平成30年10月 制定

柏崎市スポーツ推進委員協議会

スポーツ吹矢とは

ビニールフィルム製の矢を吹いて、的の得点を競うスポーツ。

年齢、体格、性別による個人差が少ないのが特徴。

【スポーツ吹矢 柏崎ローカルルール】

1. コート・用具

1-1 用具

- ① 筒：長さ 80～120cm、内径 13mm（一社/日本スポーツ吹矢協会）
- ② 矢：長さ 20cm（先端金属製、胴ビニールフィルム製）
- ③ 的（台）：330mm×330mm。発砲ポリエチレン
- ④ 的（シール）：円心から、3cm・6cm・9cm・12cm の同心円。
- ⑤ その他：的台、マウスピース、筒立、矢抜き、矢入れ、筒クリーナー、メジャー。



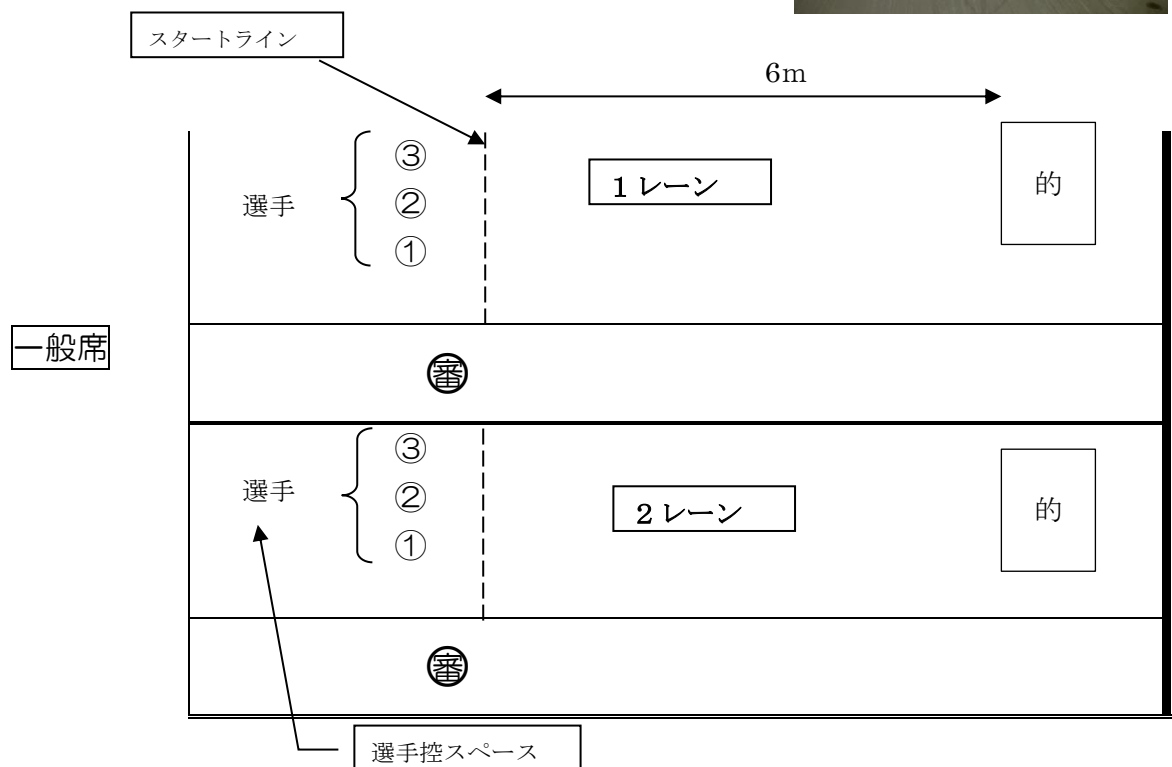
- ① 矢抜き
- ② 矢入れ（矢 8 本）
- ③ 的
- ④ 三脚台
- ⑤ 筒クリーナー
- ⑥ 紐（筒クリーナー用）

- ⑦ 除菌シート（マウスピース等）
- ⑧ マウスピース
- ⑨ 矢立て
- ⑩ 筒

1-2 コート説明

【会場図】

- ① 的までの距離は6mとする。（※小学生の場合、5mとする場合もある。）
設置する高さは、黒点の中心を床 160 cm とする。（※小学生の場合 130 cm とする場合もある。）「的ベースは一辺 33 cm とする。」
- ② 距離の異なるレーンを設置する場合は、短いレーンが長いレーンの視野に入らないようにする。



2. 試合前準備

【チーム編成】

- ① 団体戦は1チーム3人で編成。(監督は選手を兼ねることが出来ます。)
- ② 男女構成及び年齢は自由とする。

3. 競技方法

3-1 競技説明

- ① 的は半径 3cm、6cm、9cm、12cm の同心円で内側から 7 点、5 点、3 点、1 点とする。
- ② 同心円の線に触れた矢は高得点の方を採点する。
- ③ 1 ラウンドにつき 5 本の矢を吹き、3 ラウンドを 1 ゲームとする。

3-2 試合の流れ

- ① 予選は、各グループに分かれて1試合3ラウンドを行う。その後各グループの1・2位のチームが1試合3ラウンドの優勝決定戦を行う。
- ② 1 ラウンドは、審判長の「はじめ」の合図で開始し、3分間で5本の矢を吹いて終了する。一番遅い競技者が終了したのを、審判長は確認して「おわり」の合図。5本の矢を吹き終えた者は、その場に待機する。
- ③ 立順1→2→3の順番で3人が行い、これを3ラウンド繰り返す。
- ④ 的及び的ベース(33cm四方部分)に当たって撥ね返った矢は「撥ね矢」とする。「撥ね矢」を審判員が認めたときは、改めて吹き直すことができる。
- ⑤ 立順はチームで決定する。試合途中で変えることはできない。

3-3 判定・採点

- ① 1 ラウンド終了後、審判員と競技者が一緒に的に行き、審判員が採点・記録をして選手が確認する。
- ② 採点・記録をしている間に、次の競技者は、準備する。
- ③ 競技者は、審判員の判定が終わるまで矢に触れてはならない。
- ④ 得点圏の境目に在る矢は、高得点側で採点する。(タッチしていれば可)
- ⑤ ダブル又はそれ以上重なった矢は、母矢の得点をなぞる。
- ⑥ 採点が終わったら、競技者は「矢抜き」を矢に差し込んで抜く。
- ⑦ 順位は各ラウンドの得点を合計し決定する。
- ⑧ 団体戦で同点がある場合は、代表のジャンケンで吹く順番を決め、各チーム1人1本の3本勝負で勝敗を決定する。それでも決まらない場合は、各チームそれぞれ1人1本ずつ交互に吹き、勝敗を決定する。
- ⑨ 個人戦の場合は、ジャンケンで吹く順番を決め、1人1本で勝敗を決定する。